

雑 報

NATO ASI「N 体系の力学」に出席して

「天然および人工の N 体系の長期にわたる力学的振る舞い」(Long-term dynamical behaviour of Natural and Artificial N-body systems) と題される研究会 (NATO ADVANCED STUDY INSTITUTE) が 1987 年 8 月 3 日から 8 月 13 日にかけて、イタリアのコルチナ・ダンペツォで開かれた。おもにヨーロッパとアメリカから約 60 名 (うち日本人は 2 人) の参加者があった。この研究会は、3 年に一度天体力学に関連する分野の研究者が集まって開かれているものであるが、単に研究発表が行なわれるだけでなくかなりの時間が各分野の第一人者による講演にあてられており、若手育成のための“夏の学校”の性格も持った研究会である。

1 日の時間割りはレクチャー、セミナー、ナイトセッションの 3 つに大きく分かれている。まず朝食の後、8 時半から 1 時にかけて 90 分×3 コマの講演 (レクチャー) がある。ここで、力学に関連したいろいろな話題における基礎的なことや最近の発展などについての話を聞くわけである。そして昼食に 2 時間かけた後、3 時から各参加者による研究発表 (セミナー) が行なわれる。1 人当たり 30 分で 4~5 人が自分の研究について話し質疑応答が持たれる。その後夕食までは自由時間であるが、夕食 (1 時間半かける) の後 9 時から 10 時半までは Special invited address (ナイトセッション) という時間がとられる。ここでは、昼間のセッションとは打って変わって“堅苦しくない”話が 大御所によってされ

る。話にはジョークが多くはさまれ、従って大部分の参加者はリラックスして聞いているのであるが、英語に慣れていない者にとってはなかなか疲れる時間である。このナイトセッションの後にはたいていそばにあるパール (BAR: コーヒー、お酒、軽食がとれる所) に行き夜中の 12 時頃まで雑談をする。そして会場 (兼宿泊施設) に戻り、翌朝 7:45 からの朝食にむけて眠りにつくことになるわけである。こういう生活が、エクスカッションを行った土日を除いて、研究会の期間中続いた。

さて、レクチャーやセミナーで話された内容をまとめてみると次のようになる。まず“Natural”な N 体系に関連したことでは、小惑星の運動や天然および人工の惑星の話が多く、それ以外では惑星の運動や惑星の環についての話があった。また“Artificial”な N 体系については、制限 N 体問題の話やいわゆる力学系に関連した話を中心であった。その他、銀河の力学に関するものや数値計算に関する話もいくつかあった。ナイトセッションでは、天体力学の歴史や今後の展開の話、ストーンヘンジについての話、またフェルミの質問“Where are they?” (=宇宙人は存在するか?) についての討論 (?) などがあった。

以上のように、この研究会は時間的にも内容的にもかなりハードなものであり、従って消化しきれない点が多に残った。しかし、たとえ 11 日間という短い期間であったにしろ、いろいろな国の研究者と寝食を共にし様々な話が聞けたということはすばらしい体験であったと思う。また、日本でも時にはこのくらい徹底した研究会を行なってもよいのではないかと感じた。(吉川 真)

天体観測専門誌

天文ガイド

3月号 定価450円千85 1月5日発売!

特集・3月18日の

インドネシア、小笠原の皆既日食

ニューフェイス・テスト・レポート

話題の「ポタ赤」3種

いよいよ入選作の誌上发表

サンシャイン天体写真コンテスト

インドネシア・スラバヤ市近郊へ

国産の太陽望遠鏡納入密着取材・詳報

飛弾・高山オークビレッジの

特注・自家製三脚

- 3月のスター・ウォッチング ● 3月の観測資料
- 観測ガイド ● 情報ボックス…など情報満載!!

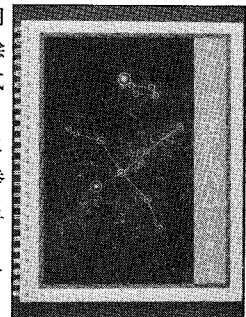
新刊・案内

新透視版星座アルバム
春夏編

透明ビニール版星座絵を活かした、星座案内決定版、全2冊。

- B5変型/ケース入り ● ビニール版星座絵24枚
- 藤井旭著 ● 定価2800円千300 ● 「秋冬編」発売中

鮮明な星野写真の上に、透明ビニール版に印刷した星座絵を重ねて見る、アルバム形式のユニークな星座案内。重ねて見て星座を覚えるのによし、望遠鏡を覗きながら参考にしてもよしの決定版。星座の見つけ方、神話も詳しく解説。既刊「秋冬編」とあわせて、全天の全星座を網羅。



誠文堂新光社

東京都千代田区神田錦町1-5
電03(292)1221 振替東京7-128